



株式会社ウィルズ

# FY2022/3Q 決算説明資料

2022/11/14



# 1. エグゼクティブ・サマリー

# FY2022/3Q エグゼクティブ・サマリー

## 1 連結売上高2,882百万円は、前年同期比112.1%/期初計画比119.4%

- ・個別売上高は、プレミアム優待倶楽部のポイント売上増加に伴い、顧客単価が上昇したことで、2,577百万円と前年同期比128.1%、期初計画比118.0%の増収。
- ・企業の株主管理DXニーズを汲み取り、株主管理プラットフォーム事業は堅調に推移。

## 2 連結営業利益607百万円、前年同期比129.9%/期初計画比151.5%

- ・個別営業利益663百万円は期初計画比154.7%で着地（前年同期の個別営業利益429百万円）。
- ・子会社のターンアラウンドは、FY2022以降の利益貢献に向けて計画通り進行中。

## 3 プレミアム優待倶楽部の契約社数は78社へ

- ・コロナ禍による業績懸念先の優待廃止影響は、今期末まで続く見通し。
- ・大企業や業績堅調な企業からの引き合いは旺盛で、契約社数は前期末から純増7社を確保。

## 4 バーチャル株主総会、オンライン決算説明会が伸長

- ・コロナ禍で、バーチャル株主総会、オンライン決算説明会の引き合いが増加し、前年同期比110.6%の成長を実現。



## 2. FY2022/3Q 決算概要

**連結売上高は新収益基準適用の影響を吸収し、前年同期比112.1%、計画比119.4%**  
**(個別売上高は、前年同期比128.1%、計画比118.0%の増収)**  
**連結営業利益は、前年同期比129.9%、計画比151.5%の増益**  
**(個別営業利益は、前年同期比137.9%、計画比154.7%の増益)**

(金額単位：百万円)	FY2021				FY2021				FY2022					
	個別		連結		個別計画		連結計画		3Q実績					
	3Q	通期	3Q	通期	3Q	通期	3Q	通期	個別	前年 同期比	計画比	連結	前年 同期比	計画比
売上高	2,012	2,629	2,571	3,378	2,182	3,076	2,412	3,390	<b>2,577</b>	128.1%	118.0%	<b>2,882</b>	112.1%	119.4%
売上原価	1,075	1,403	1,459	1,931	1,252	1,785	1,324	1,887	<b>1,419</b>	131.9%	113.2%	<b>1,590</b>	109.0%	120.1%
売上総利益	936	1,226	1,111	1,446	929	1,291	1,088	1,502	<b>1,158</b>	123.6%	124.5%	<b>1,291</b>	116.1%	118.6%
販売費及び一般管理費	455	670	644	924	500	673	687	922	<b>494</b>	108.6%	98.7%	<b>684</b>	106.1%	99.4%
営業利益	481	556	467	522	429	618	400	580	<b>663</b>	137.9%	154.7%	<b>607</b>	129.9%	151.5%
(営業利益率)	23.9%	21.1%	18.1%	15.4%	19.6%	20.0%	16.6%	17.1%	<b>25.7%</b>	—	—	<b>21.0%</b>	—	—
経常利益	482	559	464	520	428	617	397	575	<b>663</b>	137.5%	154.7%	<b>600</b>	129.0%	150.9%
親会社帰属当期純利益	335	389	318	349	298	430	267	389	<b>447</b>	133.4%	149.8%	<b>384</b>	120.8%	143.5%

(注1) 小数点第二位以下切り捨て。

## 株主管理プラットフォームの大幅伸長の結果、連結営業利益は過去最高に。 子会社の構造改革進行中も、同様の傾向が続く見通し

### ■ 四半期連結損益計算書

(金額単位：百万円)	FY2022 (通期計画)	FY2022.3Q (連結実績)
売上高	3,390	<b>2,882</b>
売上原価	1,887	<b>1,590</b>
売上総利益	1,502	<b>1,291</b>
販売費及び一般管理費	922	<b>684</b>
営業利益	580	<b>607</b>
(営業利益率)	17.1%	<b>21.0%</b>
経常利益	575	<b>600</b>
親会社帰属当期純利益	389	<b>384</b>

### ■ 報告セグメント別内訳

(金額単位：百万円)	報告セグメント		調整額
	株主管理プラットフォーム事業	広告事業	
売上高	2,570	327	▲ 14
└外部顧客への売上	2,560	321	—
└セグメント間	9	5	▲ 14
セグメント利益	629	▲ 21	0

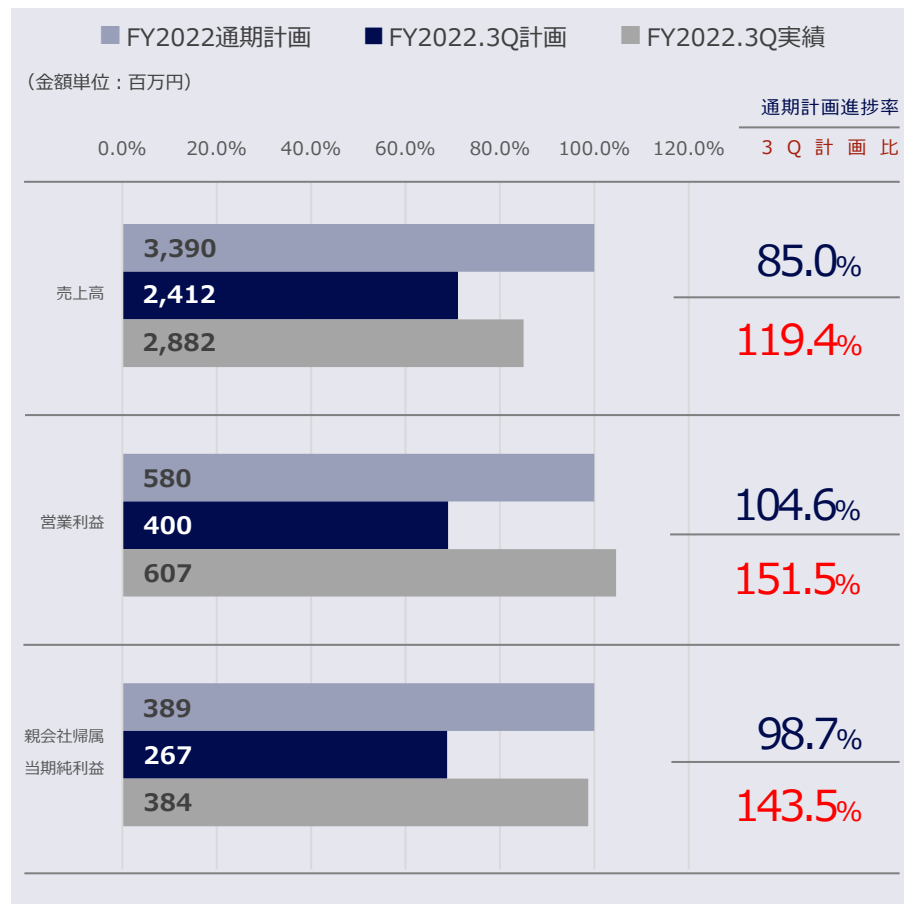
- ✓ ESG、SDGs推進の社会的要請を背景に、統合報告書、アニュアル・レポートの企画制作に係る引き合いも旺盛。
- ✓ 新型コロナウイルスの感染拡大、企業の広告宣伝・マーケティング費削減の影響で、広告事業売上高は計画比未達も販管費削減効果により連結利益計画は達成。

(注1) 小数点第二位以下、切り捨て。

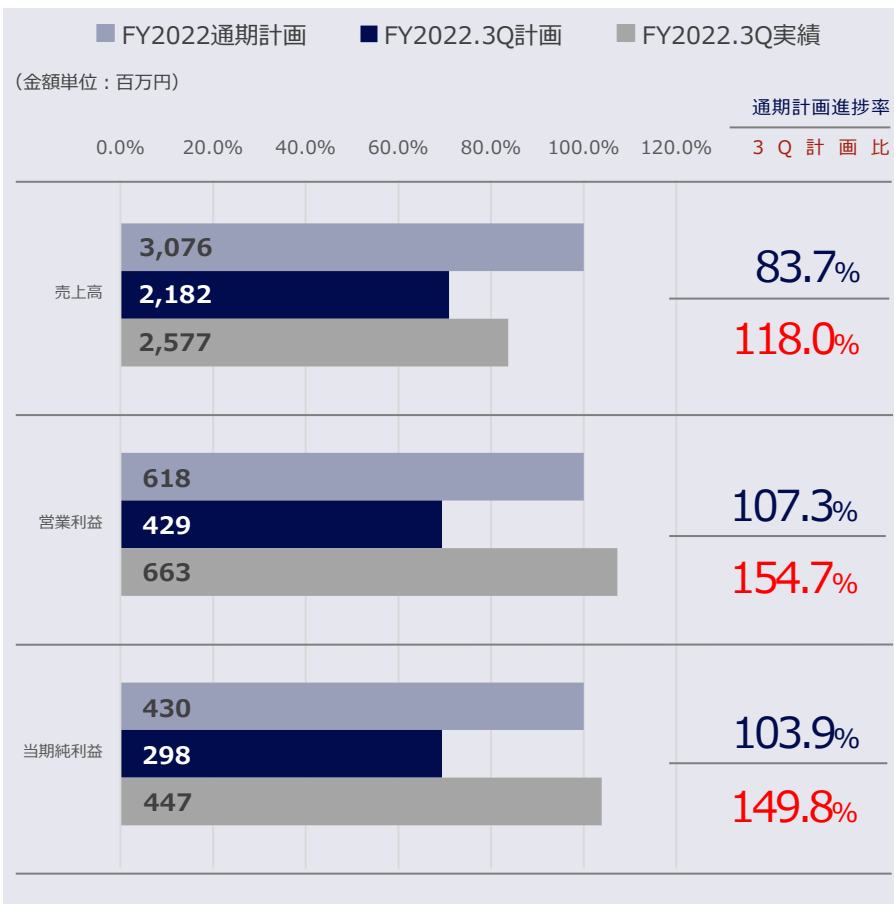
連結売上高は、通期計画に対し85.0%、3Q計画に対し119.4%の超過達成。

連結営業利益は、通期計画に対し104.6%、3Q計画に対し151.5%の超過達成。

## ■FY2022 通期計画に対する業績進捗率（連結）



## ■FY2022 通期計画に対する業績進捗率（個別）



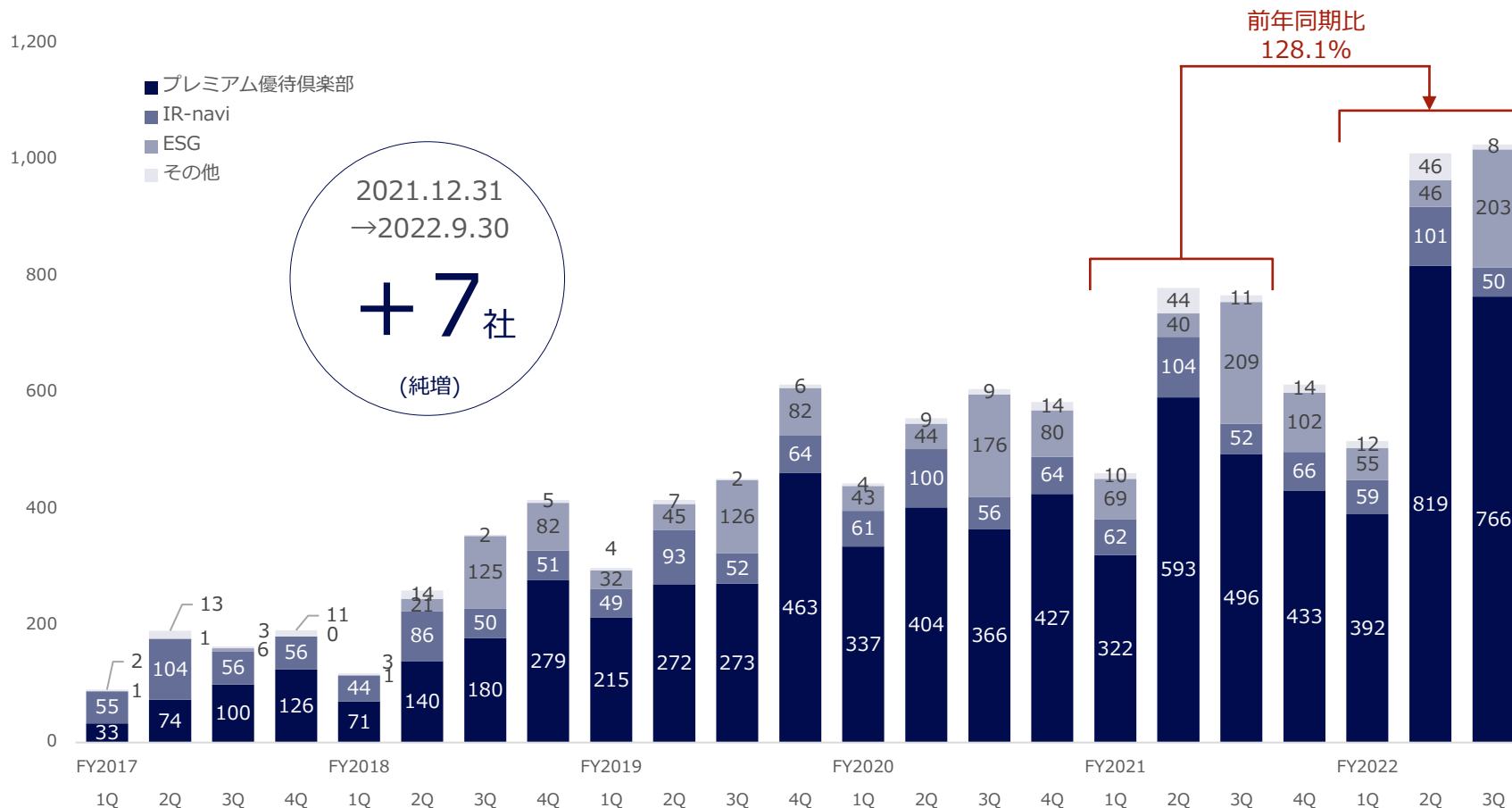
**総資産は前期末から489百万円増の3,138百万円、  
純資産は前期末から245百万円増の1,583百万円へ。**

(金額単位：百万円)	FY2021		FY2022		前期末との 差額	主要要因
	4Q	1Q	2Q	3Q		
流動資産	1,929	1,560	2,062	<b>2,285</b>	<b>356</b>	—
現金及び預金	1,642	1,267	1,596	<b>1,800</b>	<b>157</b>	短期借入金の返済による減少、長期借入金の返済、配当金支払、自己株式取得による減少
受取手形及び売掛金	256	—	—	—	—	※収益認識基準の変更に伴い勘定科目を変更しております。
受取手形、売掛金及び契約資産	—	260	411	<b>428</b>	—	※収益認識基準の変更に伴い勘定科目を変更しております。
有形固定資産	13	14	14	<b>16</b>	<b>2</b>	—
無形固定資産	636	659	682	<b>695</b>	<b>59</b>	主に、システム開発によるソフトウェア資産の増加、ネットマイルのれん償却
総資産	2,649	2,363	2,901	<b>3,138</b>	<b>489</b>	—
流動負債	1,222	1,023	1,384	<b>1,486</b>	<b>264</b>	—
買掛金	262	226	433	<b>422</b>	<b>159</b>	債務義務の増加
短期借入金	272	235	243	<b>287</b>	<b>15</b>	前四半期に対してネットマイル借入増額
1年以内返済長期借入金	26	26	26	<b>25</b>	<b>0</b>	—
未払法人税等	117	26	133	<b>126</b>	<b>8</b>	—
前受金	289	—	—	—	—	※収益認識基準の変更に伴い勘定科目を変更しております。
契約負債	—	271	351	<b>431</b>	—	※収益認識基準の変更に伴い勘定科目を変更しております。
固定負債	88	80	74	<b>68</b>	<b>▲ 20</b>	長期借入金の返済
株主資本	1,337	1,258	1,442	<b>1,582</b>	<b>245</b>	利益剰余金の増加、自己株式取得による減少
純資産	1,338	1,259	1,442	<b>1,583</b>	<b>245</b>	—

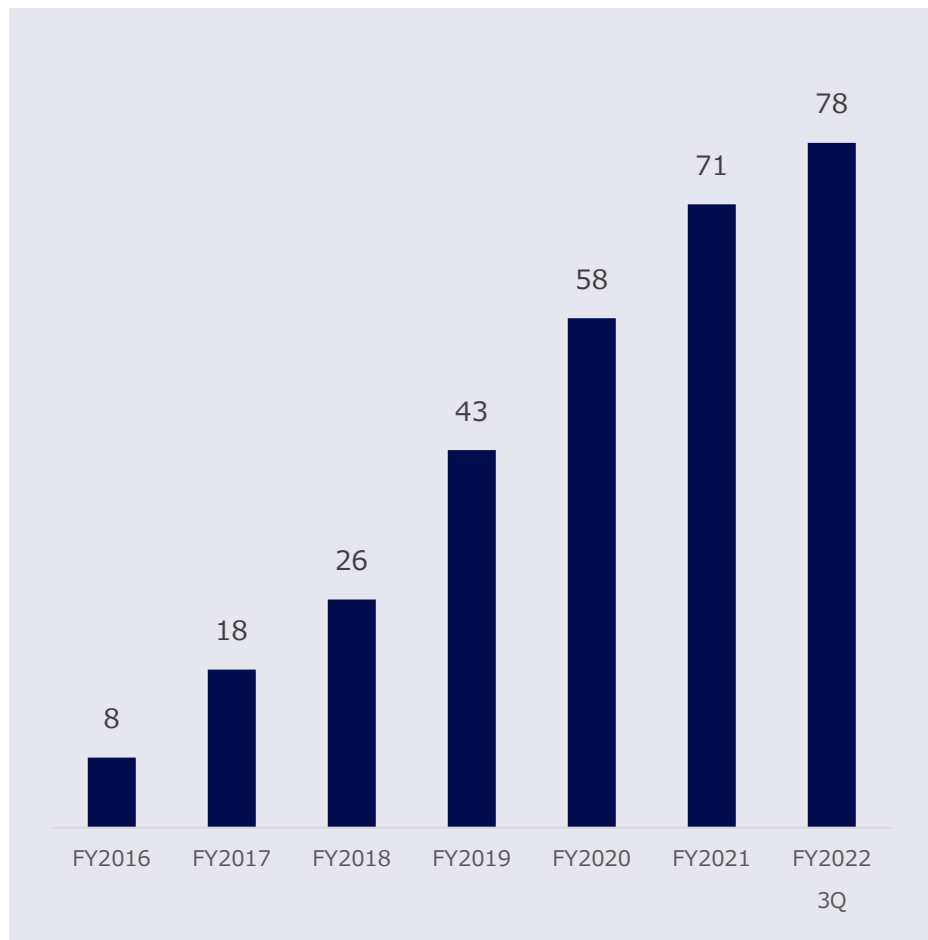


## プレミアム優待倶楽部は、上場廃止やコロナ禍による顧客企業の業績悪化を背景とした解約影響を吸収しつつ、契約社数は前期末から純増7社を達成

(金額単位：百万円)



業績懸念先企業の解約の一方、株主管理DX及び流動性創出の需要も強く、  
契約社数は、前期末から7社の純増。



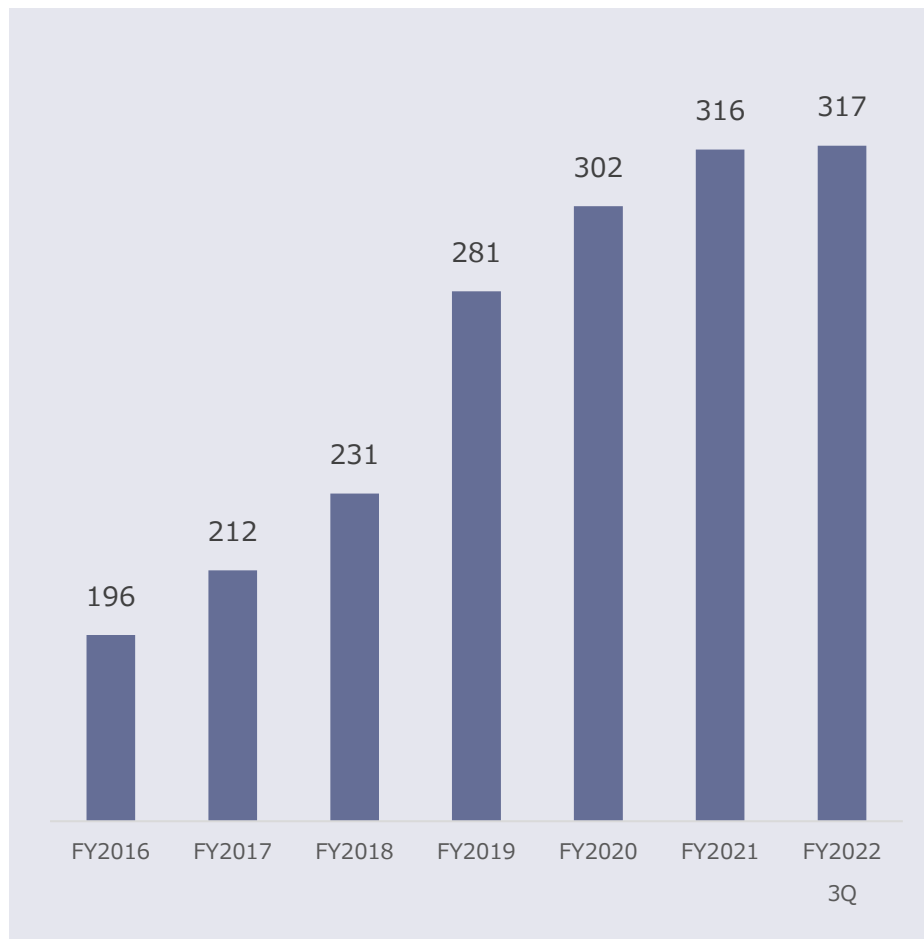
契約済み顧客数

78社

(注) 2022年9月30日現在

プレミアム優待倶楽部の顧客数は、契約締結済みの顧客数のみカウントしております。その為、新設、廃止を含めた適時開示済みの顧客数とは異なる場合があります。

IR-naviの顧客数は前期末から1社増加し、317社へ。  
契約社数の純増を確保。



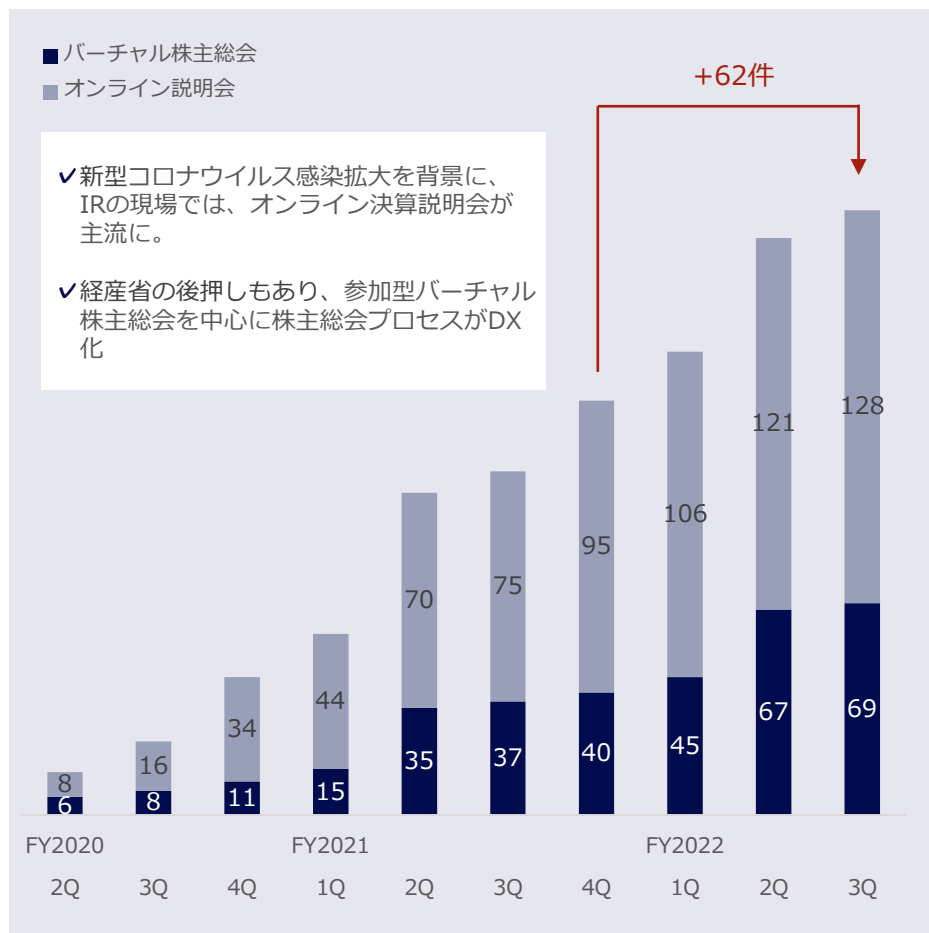
契約済み顧客数

**317**社

(注) 2022年9月30日現在

IR-naviの顧客数には、プレミアム優待倶楽部の顧客数が含まれております。IR-navi単体の顧客数は、239社です。

## バーチャル株主総会/オンライン説明会ともに堅調推移。 閑散期ながらも前年同四半期から62件増加し累計合計197件へ



実施数（累計）

197 件

（注）2022年9月30日現在

（注）バーチャル株主総会、オンライン説明会ともにそれぞれ実施件数をカウントしております。

- 本資料には、当社に関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により実際の業績が本資料の記載と著しく異なる可能性があります。
- 別段の記載がない限り、本資料に記載されている財務データは、日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。
- 当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っている今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。
- 当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。
- 本資料は、いかなる有価証券の取得の申込みの勧誘、売付けの申込み又は買付けの申込みの勧誘(以下「勧誘行為」という。)を構成するものでも、勧誘行為を行うためのものでもなく、いかなる契約、義務の根拠となり得るものでもありません。
- 当社株式へ投資される際は、投資家ご自身の判断と責任で行われますようお願いいたします。

